

古川洋三 ひろみよ 小説家。明治四十四年一月二十六日岡山縣笠岡生れ
 (一九二一)。大正十一年上京、京北中學校で武田泰淳と同窓。法政大
 學佛文科中退。この間戸川貞雄、堀末克二等と同人誌『現實派』を發
 刊。國民新聞社入社、滿洲事變末期より前後四度(互)應召し上海で
 終戦、翌年復員。

譯著書、ハウウエー(M・オールドフィールド・ハウエー)著『魔の
 馬・神話の馬』(譯、昭和十九年十一月十五日小山書店)、『關鷄島

異聞』(昭和二十一年一月二十一日河出書房「河出新書」)、『遠地

輝武研究』(合著・新日本詩人社「遠地輝武研究」錦津委員公編、

昭和四十二年八月十日新日本詩人社)、『教育台の誤植』山下裁判

の「新事実」(昭和四十六年十一月十日都市問題・出版部)等。

